



◀大型(45型液晶)表示装置

移動系無線を利用して、災害現場の位置や、現場の画像が映しだされます



◀地震津波職員参集装置

地震が発生すると、自動的に職員に連絡する装置



◀親局操作卓

この装置で、地域住民へ通報が一齐に行えるほか、各総合支所や災害現場などの通信が行えます



災害時の情報は？

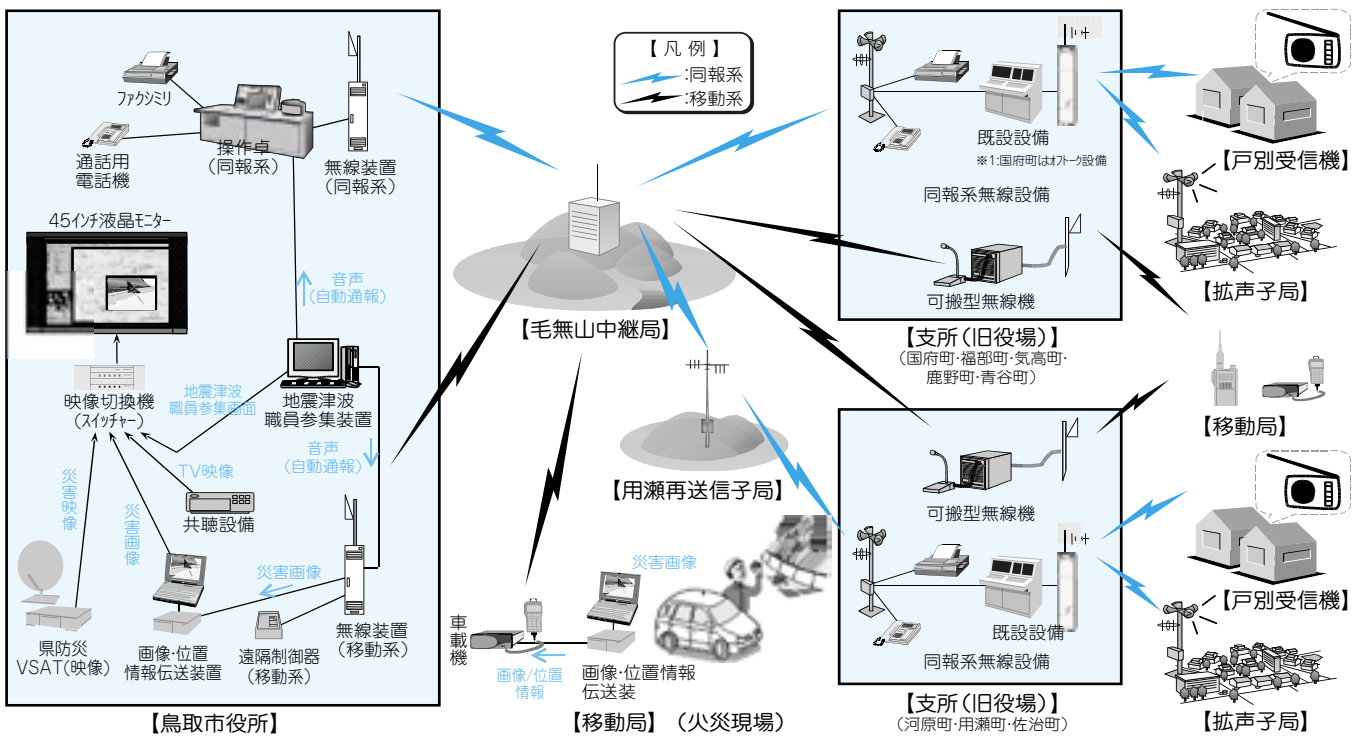
2人は、危機管理課にある無線機器が気になったようです。「この機械は何に使うのですか？」

「これは、『鳥取市防災行政無線統合システム』といって災害時などに市役所と各総合支所を無線で結び、避難命令などの指示や地域の災害状況の把握、また支所から各地域の家庭に防災情報を流すんだ」(図2)

■鳥取市防災行政無線統合システムの整備

鳥取市では、防災行政無線統合システムを整備し、8月1日に運用を開始しました。このシステムは、鳥取市役所に統制無線局を整備し、各総合支所の既設の防災行政無線を統合することにより、鳥取市管内の防災行政連絡網を確立する無線システムです。災害時の対策本部と各対策支部の通信は、この鳥取市防災行政無線と鳥取県防災行政無線で行われ、災害時の情報発信・収集に重要な役割を果たします。

鳥取市防災行政無線統合システムの概要 (図2)



災害時の行動と避難場所は？

「災害が起きた時、私たちはどうしたらよいですか？」  
 「地震、火災、風水害など災害によって避難方法や行動は異なるけれど、とにかく慌てないで冷静に自分の身を守ることに。そのためには、日ごろから危機意識をもって、もしもの時のために備えることが大切だよ」  
 村上スタッツは、作製中の防災マップを取り出し、災害発生時の行動や対応について説明。

■鳥取市防災マップ

防災マップは、縮尺2万5千分の1で、鳥取市全体を4つのエリアに分け、避難場所、土砂災害危険箇所、千代川流域の一部に堤防決壊時の浸水予測範囲などを示しています。また、これらは、災害時に備えた防災の心得となる手引も載せており、9月上旬には各家庭に該当するエリアの防災マップを配布する予定です。